

## 我孫子市第四次総合計画基本構想（案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果の公表

お寄せいただいた意見及び意見に対する市の考え方を公表します。

### ■パブリックコメントの結果

我孫子市第四次総合計画基本構想（案）についてパブリックコメントを実施したところ、次の結果になりました。貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。

- 1 募集期間 令和2年9月16日から令和2年10月15日
- 2 提出人数 3名
- 3 意見総数 6件
- 4 公表場所 企画課、行政情報資料室（市役所本庁舎1階）、各行政サービスセンター、生涯学習センターアビスタ、湖北地区公民館、市民プラザ、我孫子市民図書館湖北分館及び布佐分館、各近隣センター、我孫子市ホームページ
- 5 意見公募した内容 我孫子市第四次総合計画基本構想（案）（別紙参照）
- 6 意見と意見に対する市の考え方

整理番号	提出された意見		意見に対する市の考え方
1-1	意見	これまでのホームページ、やパンフレットの言葉選び、文字、イラストなど等の表現方法、PR手法を見直すべきだ。そのためのデザインなど包括できるプロの力を導入するなど、どうしたら受け手に伝わるのか、効果的な手法を取り入れ、シティープロモーション、CI（まちの特徴を上手く伝えるよう伝え方工夫をする）を進めていく。	<b>【1-1～1-4】</b> 若い世代に選んでもらうまちづくりへの取り組みとして、保育園の待機児童ゼロ堅持をはじめ、出産前からの保育園の入園予約や高校生等までを対象とした子ども医療費の助成、住宅取得への補助など、これまで様々な事業を展開しています。 今後の基本計画の策定にあたっては、今回のご意見も参考に、より一層の子育て支援策、空き家の利活用などの定住化促進策や郷土理解が深まる教育機会の提供などを検討していきます。 特に、ご指摘のシティープロモーションについては、魅力あるまちづくりのために、大変重要であると考えており、我孫子市
	理由	答申書3、5に指摘があるように、市外から我孫子を訪れる人々に魅力ある街だと誇れるようにするに頂きたい。まだ小さくて分からない子どもや土地に不慣れな新住民にも、我孫子の景観や文化・歴史の優れた点を知ってもらえるように、一瞬で理解できるくらいにすることが必要です。令和15年度までの12年間の方針を決めるというので、是非、この期に取り組んでもらいたい。プロフェッショナルな能力を登用し、他市以上に魅力的なPRをして頂きたい。	

1-2	意見	待機児童ゼロだけでなく、野田は充実した児童館を市内各地に開設している、流山では駅に子供を連れていき送迎保育ステーションの対応で市内の指定保育所に送迎するなどのサービスがある。他市も待機児童ゼロは達成している上で、市独自の子育て施策を進めている。そうした市とも比較して、待機児童ゼロだけでなく、様々な観点から「子育てしやすいまち」の施策を追加して頂きたい。他自治体の取り組みもチェックして、それを超えるような「子育てしやすいまち」にするよう取り組んで頂きたい。そうした取り組みが、良く分かると我孫子への転入者も増えていくと思う。	第四次総合計画基本構想（案）では、「計画推進のための横断的な取り組み」として、「戦略的なシティプロモーション」を位置付けています。市民の定着と市外の方の移住促進を図るため、より効果的な手法を検討し、基本計画に反映していきます。
	理由	転入者ではあるが、20代まで我孫子に育った。ベビーカーで子供をつれて実家に遊びに行くのに、北柏駅のエレベーターで降りて車で迎えに来てもらうことが続いた（来年にようやく設置）。沿線でエレベーターがないままで、いつまでも不便だった。これまで暮らしていた埼玉が特別だったのか、子供の初診料無料、小児科オンライン予約の医院もあったので、よけい遅れているように思えた。一人目は埼玉のブックスタートのお陰で、乳幼児の絵本を探すのはなかなか時間的に困難なのと、そんな小さいうちでも見せてあげられる絵本を選んでくれるのは、嬉しかったと覚えている。我孫子に転入して、二人目が生まれても絵本配布はない。他市にない、子育て先進市として、PRできるような点を出して頂きたい。	
1-3	意見	歴史を知ることが文化を高める土台になる。郷土の理解が深まる教育機会を提供するのも市の役割として大切だ。しかし、当市は電腦博物館で画像を検索して見る事はできるが、実際のサイズや全体像を把握する手立てになる郷土資料館がないままだ。子供たちが地元の歴史に興味をもてるよう、市全体の郷土資料館としての機能をもった場所を整備して、週末、祝日が開いていないなど、改善してもらいたい。	
	理由	インターネットで検索すると我孫子以外の近隣市には、博物館、郷土資料館が開設されている。我孫子の場合、働く親は土日、祝日に子供をそうした場に連れて行って見せてあげられない。	
1-4	意見	空き家の増加を散見する。賃貸向けにリフォームして、二年間の転入モニター制度など、貸し出しするなどの政策をしている町もある。これまでの自治体の取り組みだけに固執せず、試しに住んでもらう貸家事業などして、転入者増と空き家減を合わせ技で進めて、人口減少の対策を打つ。	

	理由	都市間競争という言葉があるが、全国から移住のあれやこれや呼びかけが目につく、その中で、稀に人口が増加傾向の東葛地区なのに、一時期、我孫子は人口減少(=不人気)の傾向が続いていた。久々の大型マンション建築で多少の改善が見られたが、これ以上に後手にならないよう願っている。テレワークも出来る時代になった時代の変化で、家賃が安ければ、若い人の流れが地方にも起きてくるはずなので、他市に先駆けて政策を打ってほしいのだ。	
2	意見	どのように重い障害があっても、全ての重度心身障害者がグループホームに入居でき、地域の中で安心して暮らせるよう、環境の整備に取り組んでいただきたいです。	<p>いただいたご意見を、今後の基本計画策定の参考とさせていただきます。</p> <p>また、第3期我孫子市障害者プラン(令和3年度～5年度版)の策定においても参考にさせていただき、親亡き後でも、重度心身障害者がグループホーム等で安心して暮らせるように体制の整備に取り組んでいきます。</p>
	理由	近年、障害者のグループホームが出来はじめましたが、重度障害者の中でも比較的軽い方は入居しやすく、最重度の心身障害者は入居が難しいのが現実です。 民間の重度障害者グループホームについては、重度心身障害について理解が浅いように、体験を通して感じました。 障害者も年を重ねますが、それと同じだけ親も年を重ねます。親亡き後、「終のすみか」であるグループホームで安心して暮らせるよう、環境の整備に取り組んでいただきたいです。	
3	意見	<p>世界の目標で人類の目標でもある地球環境の悪化を防ぐための地球温暖化防止対策は我孫子市の都市計画や災害防止等のテーマと並行して進めていく必要がある。</p> <p>2050年までにCO2排出量ゼロのゼロカーボンシティ構想の達成に向けて具体的な計画を網羅し、実行していく必要があると考える。</p> <p>地球温暖化が原因と考えられる猛烈な台風・ハリケーンや豪雨、異常な山火事等の災害が世界中で発生している。国内では過去に例のない豪雨が各地で発生し、想像を絶する災害が増加している状況にある。これらの点から地球温暖化防止は早急に取り進める必要がある重要なテーマと考える。</p> <p>我孫子市で安全に暮らしていくためにも、線状降水帯や台風等による想定外の豪雨や強風と言った自然災害をできるだけ少なくするための方策が重要で、我孫子市も世界と協力した地球温暖化防止が重要なテーマと考える。</p> <p>地球温暖化防止に向けて、まずはCO2等を発生しない自然エネルギー</p>	<p>ご指摘の地球温暖化防止対策については、我孫子市第四次総合計画基本構想(案)では、「基本目標6 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり」の「6-1 地球環境の保全」での取り組みを想定しています。</p> <p>地球規模の温暖化の進行は、人為的な活動によるところが大きいため、温室効果ガスの継続的な排出量の抑制のほか、ごみの減量化や再資源化、再生可能エネルギーの活用など、環境に配慮した社会の構築が重要となることから、いただいたご意見も参考に、今後の基本計画策定の中で検討していきます。</p>

ギーの活用が重要と考える。我孫子市は太陽光・太陽熱・地中熱等が豊富に存在し、活用に向けた実用的な自然エネルギーと考える。

太陽光発電は既に市内各地で利用されているが、最近の FIT 価格の低下に伴い普及が低迷してきている。市の施設で利用されているがまだまだ規模が小さすぎると感じる。FIT 価格は低下するが、今までの高額な FIT 価格の電力量の増加により、これを反映した電力料金が今後高額になると想定される。このような背景から、今後は 20 年以上活用できる太陽光発電を自家消費電源として活用すれば、今後上昇する市販電力に比べて低廉なコストで利用できると想定される。

公共施設は休日の電力消費量は少ないが、稼働日の日中の電力消費量は多いので、日中発電する太陽光発電を公共施設で活用することは CO2 削減に有効と考える。また、病院等 24 時間連続で空調や温水供給等を必要とする施設では、温水を造成する太陽熱や冷温水を造成できる地中熱ヒートポンプシステム等と焼却炉や排水処理システム等から発生する排熱利用等も活用し、省エネシステム (=CO2 削減システム) として活用することができる。

公共施設を新に建築する場合は自然エネルギーを広く活用できるように、日中のエネルギー利用施設と夜間のエネルギー利用施設の組み合わせも検討に値すると考える。

太陽光発電はバッテリーを設置することで災害時に有意義であるが、バッテリーをつけなくても日中の電力消費に対応だけでも地球温暖化防止に十分寄与すると考える。

一般に、消費電力量の約半分ほどは空調等の熱エネルギーに転換して利用されている実態にあり、太陽熱や地中熱の自然エネルギーや廃棄されている排熱を直接熱エネルギーとして利用することで電力消費量を削減することも可能で、省エネにつながる。

太陽光は冬でも日照量が多い我孫子市では最適と推察する、更に、地中熱も太陽熱が地中に蓄積された熱であり、どこでも、だれでも利用できる熱エネルギーであることから、空調等の熱源に利用すればエアコンに比べて省エネで運転効率の高いシステムであること

	<p>から、地球温暖化防止にも大いに寄与する。</p> <p>市民が求める安全と安心の街づくりは当然で、この目的達成のためにも地球温暖化防止は重要な基本テーマで、種々の目標と同時に達成していく方法が重要と考える。</p> <p>自然エネルギーの地産地消を推進することで地場産業の育成にも繋がる。自然エネルギーの地産地消を目標に、地場産業として事業者の育成も重要なテーマと考える。</p> <p>更に、ごみ焼却場の排熱利用や手賀沼終末処理場の排熱利用、その他にも排熱利用が可能な施設があるのではないかと推察する。我孫子市内に分布する種々の排熱等を地域熱エネルギーとして活用することで、市全体の省エネに繋がり、地球温暖化防止にも貢献することができるので、これらの設備の現状を見直してみてもどうかと考える。</p>	
--	--	--

#### 7 内容の修正について

寄せられたご意見に基づく修正はありません。

#### 8 担当 我孫子市役所 企画課 企画調整担当 TEL：04-7185-1111（内線 769）